

## 2020年度 学生生活の満足度調査結果（コミュニティ生活学科）

### 1. 調査回答者

2年次 70名

### 2 調査結果

#### 1) 満足度調査

領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計
教務	カリキュラム(教育課程)	0人 0%	1人 1%	29人 41%	40人 57%	0人 0%	70人
	授業	0人 0%	0人 0%	31人 44%	39人 56%	0人 0%	70人
	授業科目が豊富で充実していた	0人 0%	1人 1%	18人 26%	51人 73%	0人 0%	70人
	自分の将来の目標や適性にあわせて授業を自由に選べるのがよかった	0人 0%	3人 4%	13人 19%	54人 77%	0人 0%	70人
	学びたいと思っていたことを学ぶことができた	1人 1%	2人 3%	27人 39%	40人 57%	0人 0%	70人
	入学前に期待したとおり(または期待以上)の授業や指導を受けた	1人 1%	6人 9%	28人 40%	35人 50%	0人 0%	70人
学生生活	教員のサポート体制	0人 0%	3人 4%	22人 31%	44人 63%	1人 1%	70人
	職員のサポート	0人 0%	3人 4%	22人 31%	45人 64%	0人 0%	70人
	自分でチューター(セミナー)を選べるのがよかった	0人 0%	0人 0%	16人 23%	54人 77%	0人 0%	70人
	チューターがしっかりサポートしてくれた	0人 0%	1人 1%	18人 26%	51人 73%	0人 0%	70人
	自分にとって大切な友達を作ることができた	0人 0%	1人 1%	11人 16%	58人 83%	0人 0%	70人
	自分の個性を大切にしてくれる学科だ	0人 0%	1人 1%	17人 24%	51人 73%	1人 1%	70人
	コミュニティ生活学科に入学してよかった	0人 0%	3人 4%	17人 24%	50人 71%	0人 0%	70人
	入学してきた時よりも成長した	0人 0%	2人 3%	17人 24%	51人 73%	0人 0%	70人
	コロナ対応に係るサポート体制	1人 1%	7人 10%	32人 46%	30人 43%	0人 0%	70人
キャリアアップ	就職支援体制	3人 4%	8人 11%	30人 43%	29人 41%	0人 0%	70人
	資格取得支援体制	0人 0%	3人 4%	29人 41%	38人 54%	0人 0%	70人
自治会活動 学科行事	大学祭	4人 6%	15人 21%	29人 41%	22人 31%	0人 0%	70人
	スポーツ大会	3人 4%	16人 23%	33人 47%	18人 26%	0人 0%	70人
施設	図書館	0人 0%	4人 6%	31人 44%	35人 50%	0人 0%	70人
	食堂	2人 3%	4人 6%	31人 44%	33人 47%	0人 0%	70人
	保健室・学生相談室	0人 0%	2人 3%	30人 43%	38人 54%	0人 0%	70人
	施設や設備全般	0人 0%	6人 9%	34人 49%	29人 41%	1人 1%	70人
総合	総合的に学生生活に満足していますか?	0人 0%	3人 4%	19人 27%	45人 64%	3人 4%	70人

※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

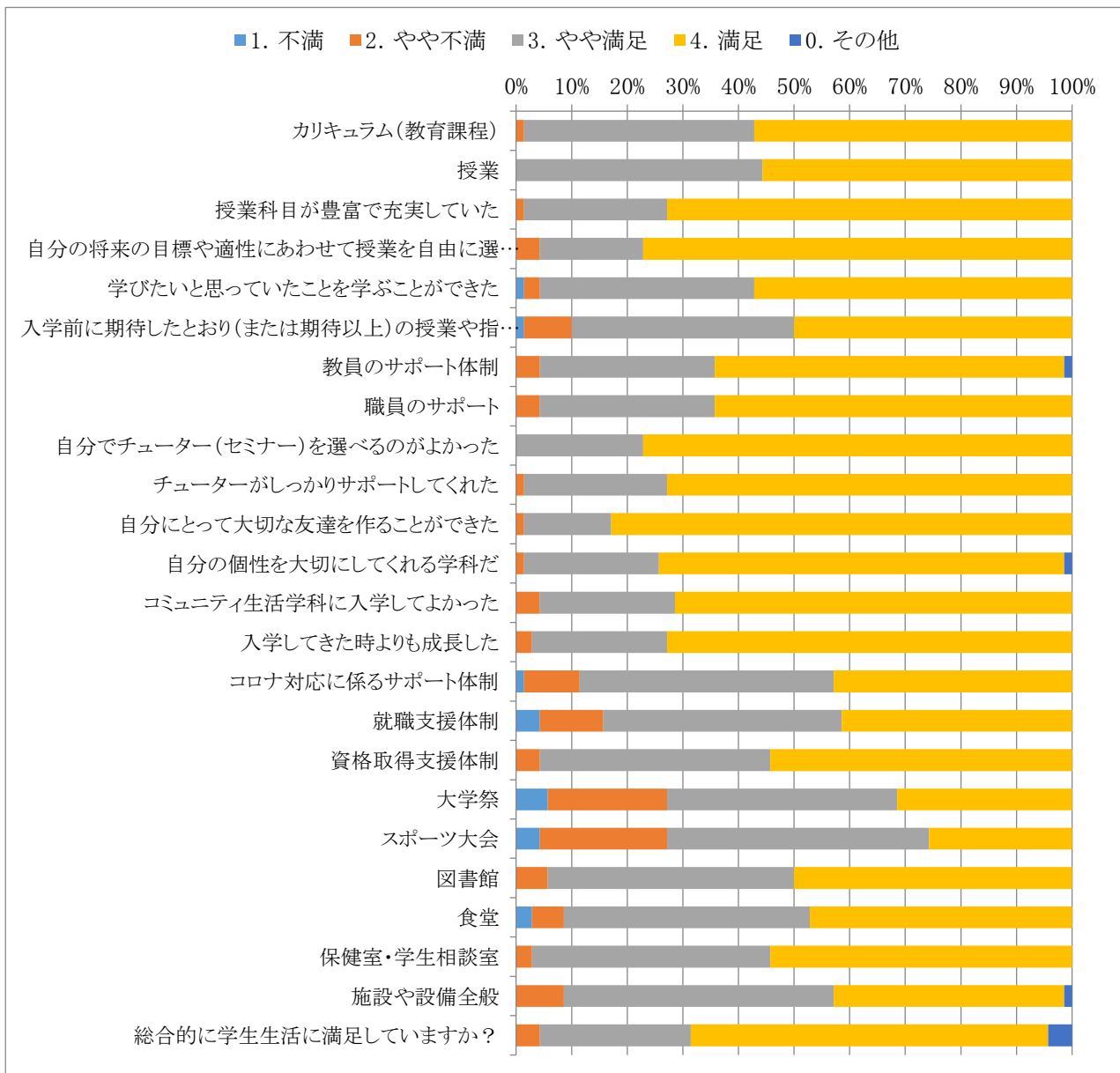
## 2) 自己点検

項目	1. 身に付かなかった		2. あまり身に付かなかった		3. やや身に付いた		4. 身に付いた		0. その他		計
専門的な知識や技術を身につけることができた	0人	0%	3人	4%	25人	36%	42人	60%	0人	0%	70人
これからの生活や仕事で役立つことを多く学べた	0人	0%	2人	3%	24人	34%	44人	63%	0人	0%	70人
人と積極的にかかわれるようになった	1人	1%	3人	4%	22人	31%	44人	63%	0人	0%	70人
社会や地域など、だれかのために役立ちたいと考えるようになった	1人	1%	2人	3%	25人	36%	42人	60%	0人	0%	70人
短大生活を通して生活態度や言葉遣いに成長がった	1人	1%	3人	4%	26人	37%	40人	57%	0人	0%	70人
短大生活を通して精神的に成長した	1人	1%	2人	3%	23人	33%	44人	63%	0人	0%	70人
短大生活を通して自立できる自信がいった	2人	3%	2人	3%	27人	39%	39人	56%	0人	0%	70人

※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

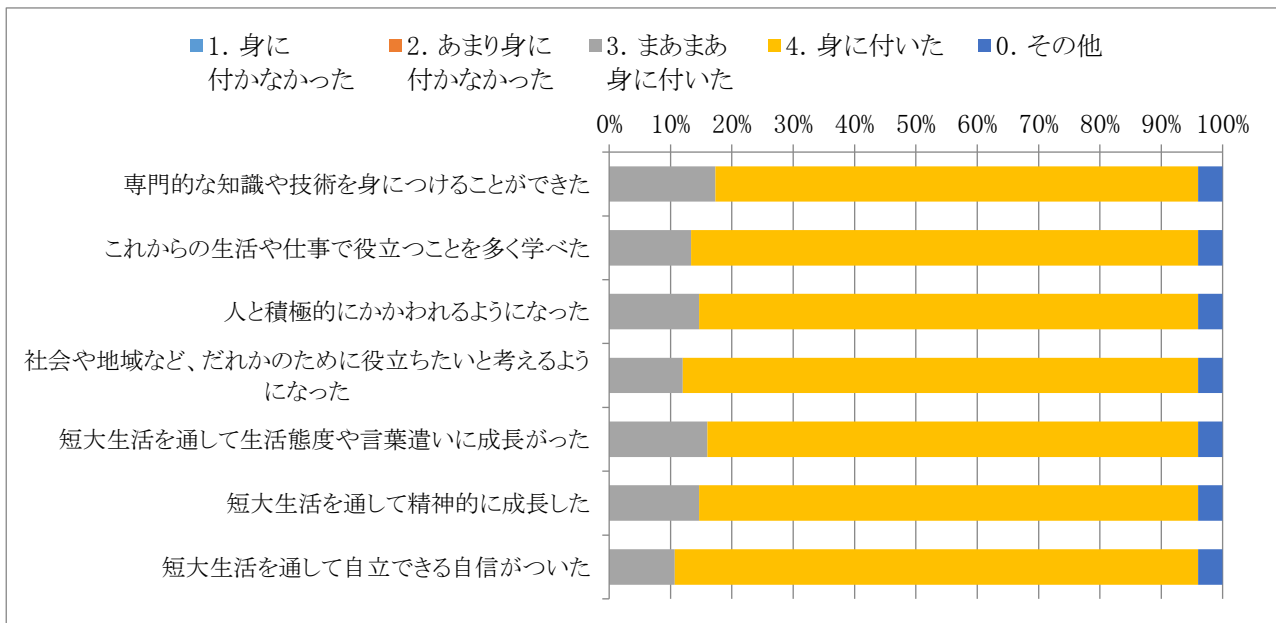
## 3 グラフ

### 1) 満足度調査



※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

## 2) 自己点検



※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

## 4 自由記述

- ・教職と製菓の授業がかぶってしまって、取れないのが少し残念だった。
- ・2年間、たのしかったです！ ありがとうございます！
- ・コロナで行事が1年のときしかできなかったから、そこだけふまん！！
- ・先生がやさしくて、とても楽しい2年間でした。ありがとうございます。

## 5 まとめ

### (1) 満足度調査

- ・すべての項目で、「3. やや満足」あるいは「4. 満足」が多かった。
- ・教務の項目はすべて、「4. 満足」が高かった。  
「自分の将来の目標や適性にあわせて授業を自由に選べるのがよかった」が77%で、一番高く、次いで、「授業科目が豊富で充実していた」73%であった。
- ・学生生活の項目はすべて、「4. 満足」が高かった。  
「自分にとって大切な友達を作ることができた」83%、「自分でチューター（セミナー）を選べるのがよかった」が77%、「チューターがしっかりサポートしてくれた」73%、「自分の個性を大切にしてくれる学科だ」73%、「入学してきた時よりも成長した」73%と高かった。
- ・キャリアアップの項目は、「資格取得支援体制」については「4. 満足」が54%、「就職支援体制」については41%で、昨年度のいずれも72%であったことと比較すると下がっていた。
- ・自治会活動の項目の評価は、「3. やや満足」が高く、「4. 満足」は低かった。
- ・施設の項目では、「図書館」「保健室・学生相談」の2つの項目では「4. 満足」が50%超えたが「施設や設備全般」は41%と一番低かった。
- ・総合的な満足度は、「4. 満足」が64%、「3. やや満足」が27%であった。

教務の項目については、「フィールド&ユニット制」への満足度が高く、学科の一人一人のニーズに合った教育の成果が数値に表れていると思われる。学生生活の項目についても、学科教育の柱である「セミナー&チューター制」への満足度が高く一定の評価が得られていると考えられる。

総合的な満足度、教務や学生生活は、「3. やや満足」と「4. 満足」を合わせ全体的に満足度が高いが、自治会活動・施設の項目について、「2. やや不満」「1. 不満」の割合が高く出ている。

施設の項目については、「図書館」や「保健室」の満足度は、その施設を利用した学生とそうでない学生の差と思われる。

1年次の調査と比較すると「総合的に学生生活に満足していますか？」について、「4. 満足」の割合が49%から64%へと高くなっている。コロナ禍の中で、遠隔授業(C-Learning)と対面授業とを併用した体制で進めた1年を終え、キャリアアップと自治会活動・学科行事について満足度が下がったにもかかわらず、全体の満足度が上がったのは、教務と学生生活の満足度の高さによるものと考えられる。

## (2) 自己点検

- ・すべての項目で、「4. 身に付いた」の評価は、56%～63%だった。
- ・すべての項目で、「3. やや身に付いた」の評価は、31～39%だった。
- ・すべての項目で、「2. あまり身に付かなかった」の評価は、3～4%だった。
- ・すべての項目で、「1. 身に付かなかった」という評価は、1～3%だった。

高かった項目は、「これからの生活や仕事で役立つことを多く学べた」、「人と積極的にかかわれるようになった」「短大生活を通して精神的に成長した」であった。

昨年度実施した1年次の調査と比較すると、自己点検の評価が高くなり、「4. 身に付いた」の割合がすべての項目で10%程度高くなっている。2年間の丁寧な教育指導により評価が高くなっていると思われる。

## 2020年度 学生生活の満足度調査結果（食物栄養学科）

### 1. 調査回答者

2年次 42名

### 2 調査結果

#### 1) 満足度調査

領域	項目	1. 不満		2. やや不満		3. やや満足		4. 満足		0. その他		計
教務	カリキュラム(教育課程)	0人	0%	0人	0%	5人	12%	37人	88%	0人	0%	42人
	授業	0人	0%	0人	0%	10人	24%	32人	76%	0人	0%	42人
	食物栄養学科で行われている行事 やボランティア活動	0人	0%	1人	2%	10人	24%	31人	74%	0人	0%	42人
	食物栄養学科で行った卒業研究	0人	0%	0人	0%	8人	19%	34人	81%	0人	0%	42人
学生生活	教員のサポート体制	0人	0%	1人	2%	2人	5%	39人	93%	0人	0%	42人
	職員のサポート	0人	0%	1人	2%	3人	7%	38人	90%	0人	0%	42人
	コロナ対応に係るサポート体制	0人	0%	1人	2%	8人	19%	33人	79%	0人	0%	42人
キャリアアップ	就職支援体制	0人	0%	2人	5%	5人	12%	35人	83%	0人	0%	42人
	資格取得支援体制	0人	0%	1人	2%	6人	14%	35人	83%	0人	0%	42人
自治会活動 学科行事	大学祭	2人	5%	4人	10%	14人	33%	22人	52%	0人	0%	42人
	スポーツ大会	2人	5%	3人	7%	17人	40%	20人	48%	0人	0%	42人
施設	図書館	0人	0%	0人	0%	6人	14%	36人	86%	0人	0%	42人
	食堂	0人	0%	2人	5%	9人	21%	31人	74%	0人	0%	42人
	保健室・学生相談室	0人	0%	0人	0%	8人	19%	34人	81%	0人	0%	42人
	施設や設備全般	0人	0%	1人	2%	10人	24%	31人	74%	0人	0%	42人
総合	総合的に 学生生活に満足していますか？	0人	0%	0人	0%	3人	7%	29人	69%	10人	24%	42人

※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

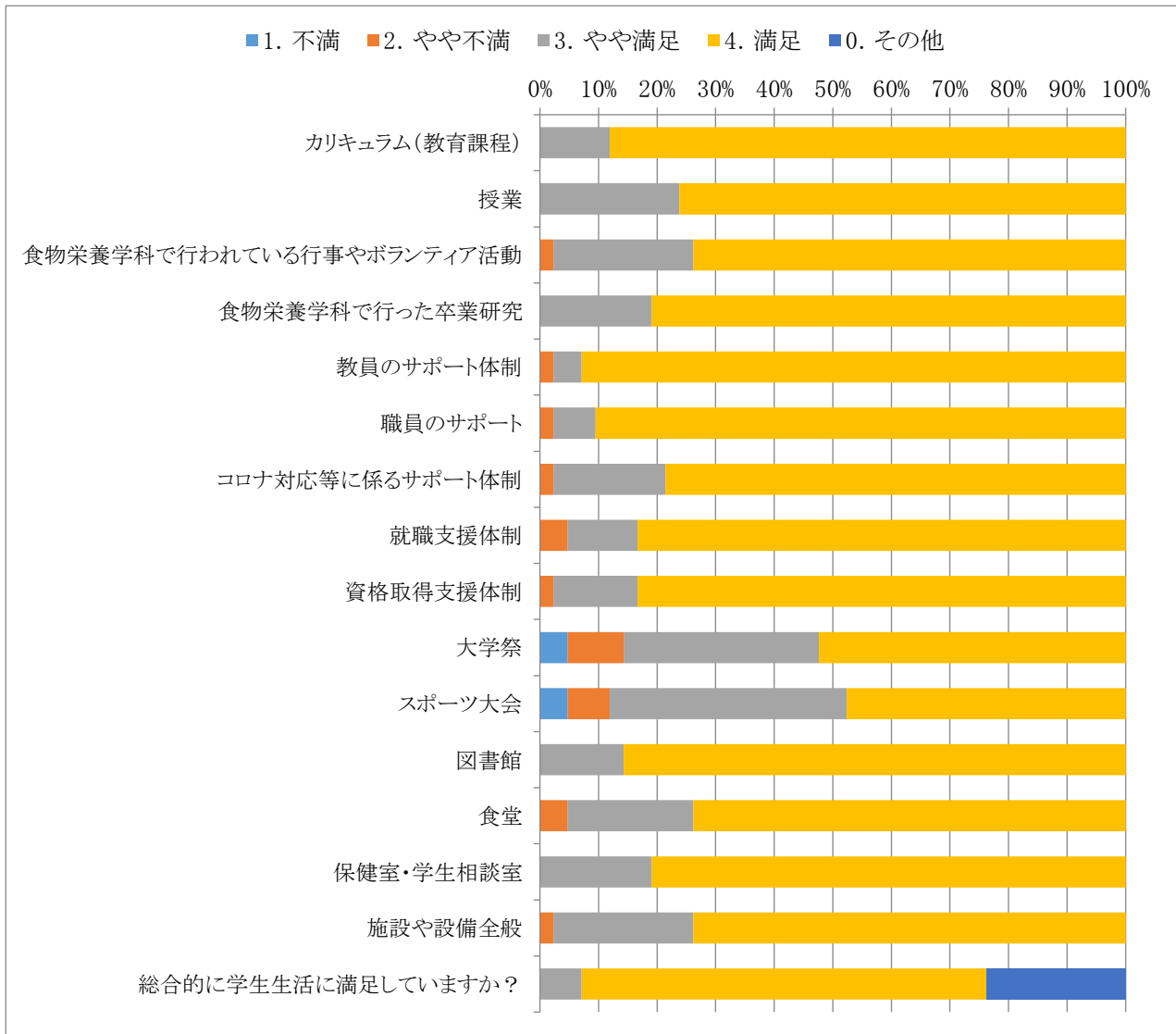
#### 2) 自己点検

項目	1. 身に 付かなかった		2. あまり身に 付かなかった		3. やや 身に付いた		4. 身に付いた		0. その他		計
栄養士として必要な専門的な知識や技術を 身につけることができた	0人	0%	0人	0%	7人	17%	29人	69%	6人	14%	42人
食物栄養学科の2年間で調理技術が 向上した	0人	0%	1人	2%	2人	5%	33人	79%	6人	14%	42人
対象者に合った献立作成や調理、 栄養指導ができるようになった	0人	0%	0人	0%	6人	14%	30人	71%	6人	14%	42人
自らの食生活を振り返り、自己評価するこ とができるようになった	0人	0%	0人	0%	5人	12%	31人	74%	6人	14%	42人
短大生活を通して 社会的に自立できる自信がいった	0人	0%	0人	0%	5人	12%	31人	74%	6人	14%	42人

※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

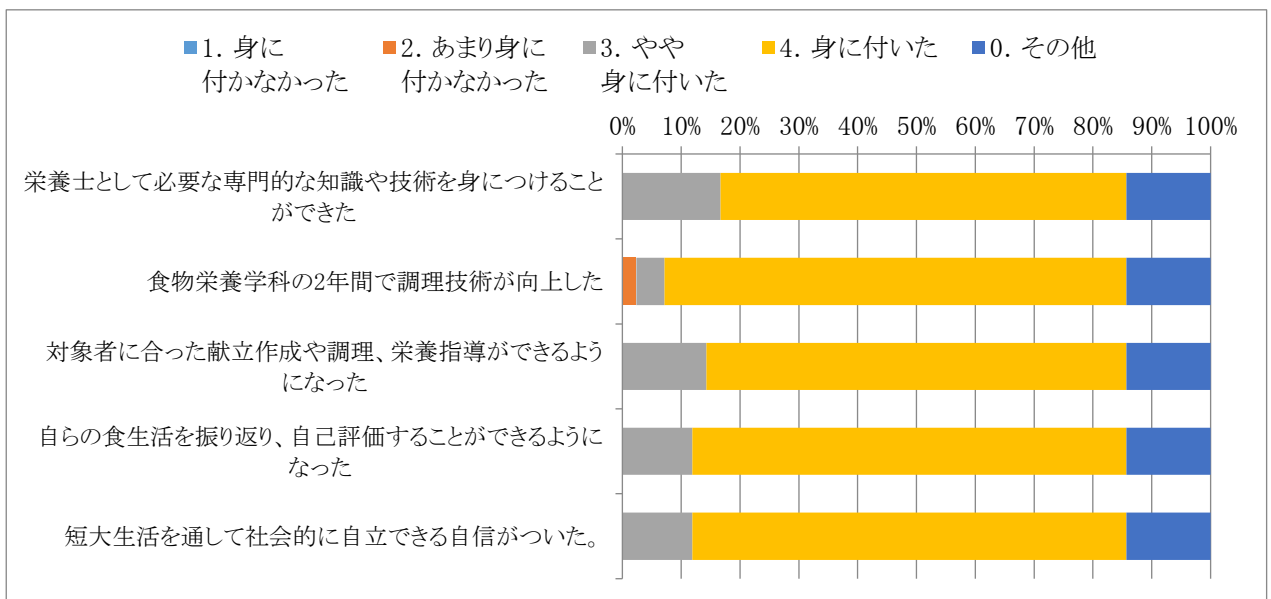
### 3 グラフ

#### 1) 満足度調査



※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

#### 2) 自己点検



※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

#### 4 自由記述

- ・たのしかったです。
- ・先生方も、丁寧に対応されていたので、満足な学校生活を送ることができました。
- ・とても楽しい学生生活でした。ありがとうございました。

#### 5 まとめ

##### 1) 満足度調査

今回の調査は、6領域、16項目について行われた。

「教務」「学生生活」「キャリアアップ」の3領域は、95%以上の学生が「満足」または「やや満足」と回答しており、昨年度に続いて満足度は高かった。食物栄養学科では「きめ細かな学生指導」を行っており、その成果が結果に反映されたものと思われる。

「キャリアアップ」領域では、就職支援体制について、「やや不満」の回答が2名あったものの、それ以外の学生は、「満足」又は「やや満足」と回答しており、キャリアセンターとの連携によるきめ細かな就職サポートの成果が進路決定に貢献したものと考えている。

「自治会活動」については、大学祭は66%、スポーツ大会では88%が「満足」「やや満足」と回答しているが、「やや不満」「不満」の回答が12~15%であり、他の項目より多い傾向が見られた。本年度は実施されなかったことによるものとする。

「施設」領域に関しては、図書館と保健室は「やや満足」又は「満足」と全員(100%)が回答したが、「食堂」は95%、「施設や設備全般」98%であり、概ね満足していた。

総合的な満足度の平均点は、4点満点で3.9点(「その他」を除く)であり、学科が設定している「3.2点以上」という目標は超えていた。学生たちはほぼ満足して卒業したのではないかと思われる。しかしながら、学科でできる取組については、今回の結果を踏まえて改善していきたい。

##### 2) 自己点検

自己点検の5項目に関しては、「身に付いた」と「やや身に付いた」を合計して「身に付いた」とすると、すべての項目において、84~86%が「身に付いた」と回答していた。

1年次に実施した同調査では、「身に付いた」と回答したのは5項目のうち、調理技術の向上のみが93%であり、最も低かったのは「対象者に合った献立作成や調理、栄養指導」の70%であった。今回の結果からは、この一年で2年間の学修や校外実習等の実践の場を経験し、栄養士として必要な専門的な知識や調理技術をさらに広い視点で考えることができるようになり、各項目について「身に付いた」と判断したものと思われる。

今後は、食物栄養学科として、学生の自己点検評価が今まで以上に高まるようサポートしていきたい。

## 2020年度 学生生活の満足度調査結果（保育学科）

### 1. 調査回答者

2年次 81名

### 2 調査結果

#### 1) 満足度調査

領域	項目	1. 不満		2. やや不満		3. やや満足		4. 満足		0. その他		計
教務	カリキュラム(教育課程)	0人	0%	3人	4%	33人	41%	45人	56%	0人	0%	81人
	授業	0人	0%	2人	2%	37人	46%	42人	52%	0人	0%	81人
	授業科目が充実していた	0人	0%	1人	1%	29人	36%	51人	63%	0人	0%	81人
	ピアレッスンで自分の力を伸ばすことができた	1人	1%	3人	4%	23人	28%	54人	67%	0人	0%	81人
	教育実習・保育実習で保育力を伸ばすことができた	0人	0%	2人	2%	25人	31%	54人	67%	0人	0%	81人
	運動会や生活発表会で実践力を伸ばすことができた	1人	1%	7人	9%	35人	43%	38人	47%	0人	0%	81人
	入学前に期待した通りの授業や指導を受けられた	1人	1%	1人	1%	36人	44%	43人	53%	0人	0%	81人
学生生活	教員のサポート体制	0人	0%	0人	0%	26人	32%	55人	68%	0人	0%	81人
	職員のサポート	0人	0%	0人	0%	25人	31%	56人	69%	0人	0%	81人
	チューターがしっかりサポートしてくれた	0人	0%	0人	0%	19人	23%	62人	77%	0人	0%	81人
	自分にとって大切な友達を作ることができた	0人	0%	1人	1%	17人	21%	63人	78%	0人	0%	81人
	保育学科に入学してよかった	0人	0%	0人	0%	16人	20%	65人	80%	0人	0%	81人
	コロナ対応等に係るサポート体制	1人	1%	3人	4%	30人	37%	47人	58%	0人	0%	81人
キャリアアップ	就職支援体制	0人	0%	5人	6%	23人	28%	53人	65%	0人	0%	81人
	資格取得支援体制	0人	0%	3人	4%	27人	33%	51人	63%	0人	0%	81人
自治会活動 学科行事	大学祭	3人	4%	9人	11%	44人	54%	25人	31%	0人	0%	81人
	スポーツ大会	4人	5%	10人	12%	40人	49%	27人	33%	0人	0%	81人
施設	図書館	1人	1%	1人	1%	33人	41%	46人	57%	0人	0%	81人
	食堂	1人	1%	5人	6%	34人	42%	41人	51%	0人	0%	81人
	保健室	0人	0%	3人	4%	26人	32%	52人	64%	0人	0%	81人
	施設や設備全般	1人	1%	5人	6%	38人	47%	37人	46%	0人	0%	81人
総合	総合的に学生生活に満足していますか？	0人	0%	1人	1%	23人	28%	47人	58%	10人	12%	81人

※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。



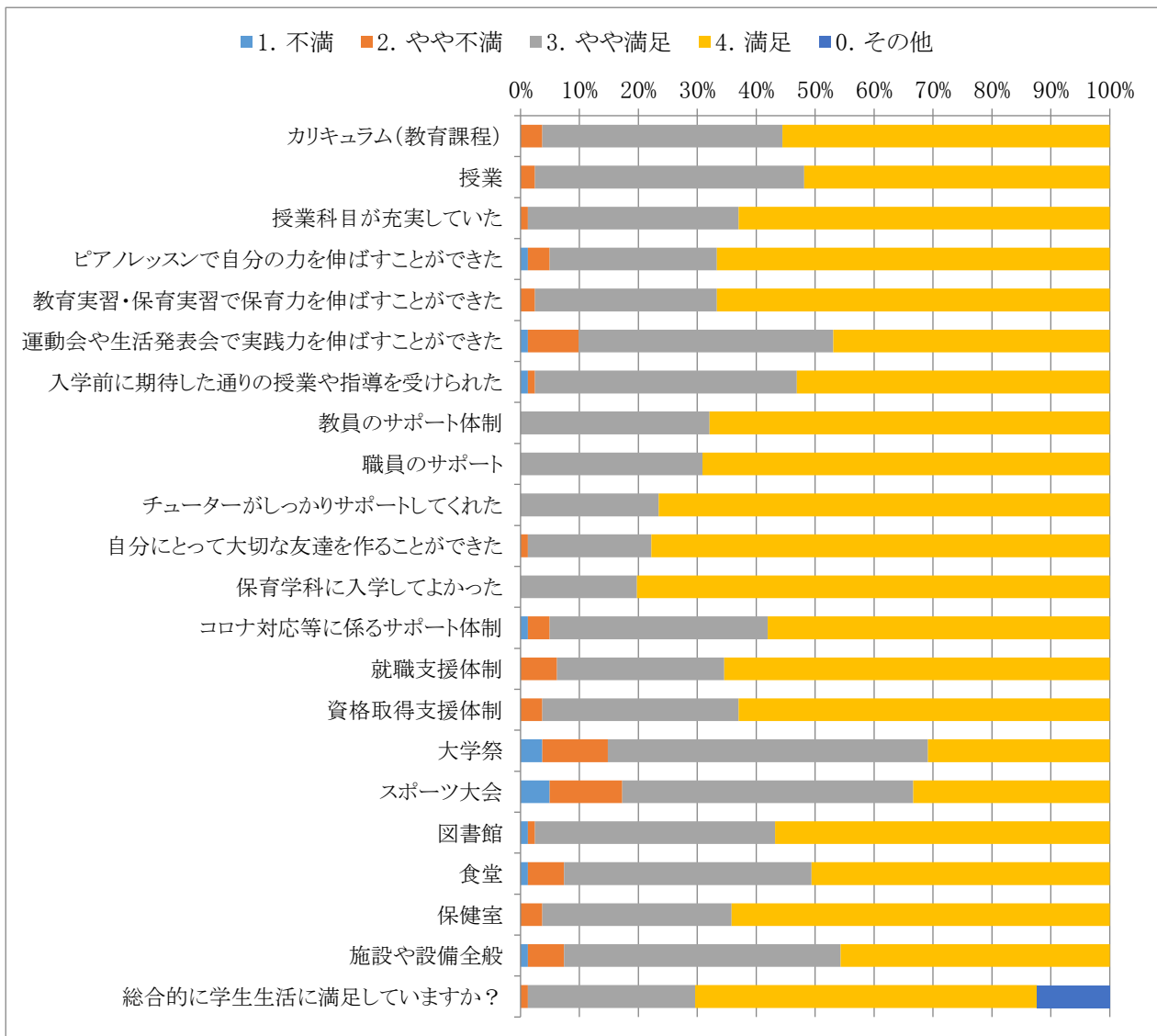
## 2) 自己点検

項目	1. 身に付かなかった		2. あまり身に付かなかった		3. やや身に付いた		4. 身に付いた		0. その他		計
短大生活を通して専門的な知識や技術を身につけることができた	0人	0%	1人	1%	22人	27%	56人	69%	2人	2%	81人
短大生活を通して生活態度や言葉遣いに成長があった	0人	0%	1人	1%	23人	28%	55人	68%	2人	2%	81人
短大生活を通して精神的に成長した	0人	0%	0人	0%	22人	27%	57人	70%	2人	2%	81人
短大生活を通して自立できる自信がついた	0人	0%	3人	4%	28人	35%	48人	59%	2人	2%	81人
自立した大人として責任を持った行動ができるようになった	0人	0%	1人	1%	27人	33%	51人	63%	2人	2%	81人
チームワークを大切にすることができるようになった	0人	0%	1人	1%	23人	28%	55人	68%	2人	2%	81人
周囲と良好なコミュニケーションをとることができるようになった	0人	0%	0人	0%	22人	27%	57人	70%	2人	2%	81人
社会や地域など、誰かのために役立ちたいと考えるようになった	0人	0%	0人	0%	22人	27%	57人	70%	2人	2%	81人

※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

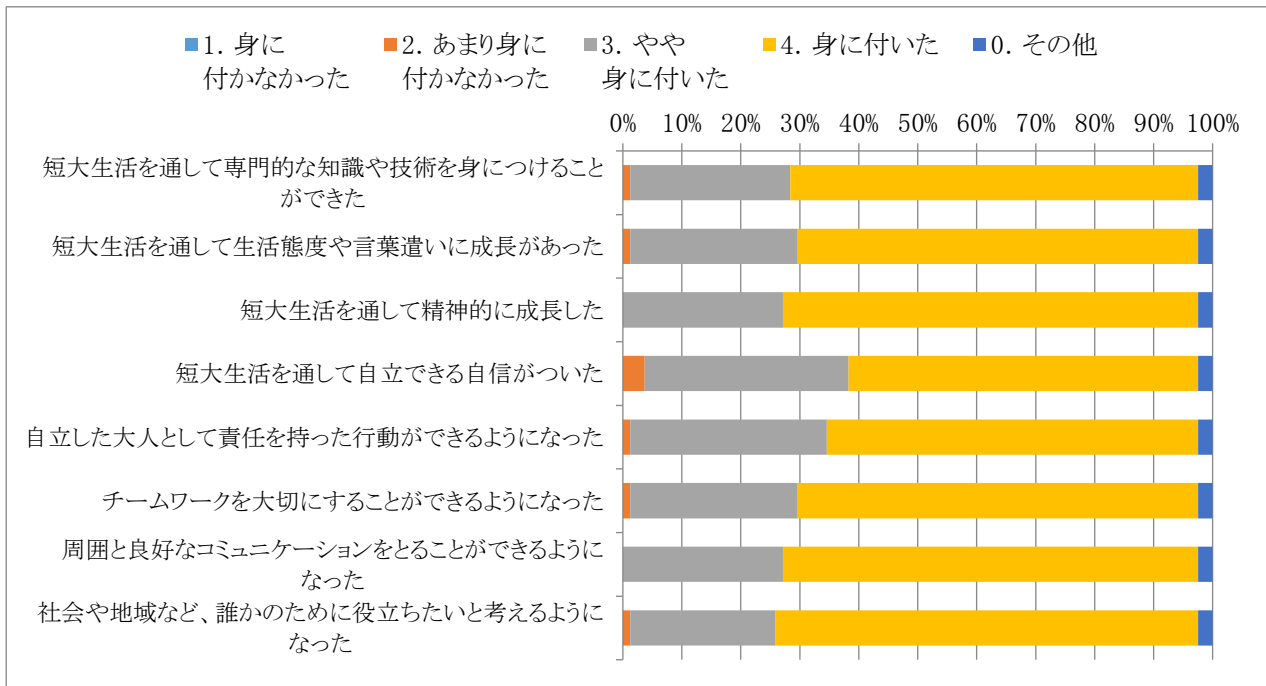
## 3 グラフ

### 1) 満足度調査



※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

## 2) 自己点検



※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

## 4 自由記述

- ・スポーツ大会、今年度もやりたかったなあ
- ・チューターの先生がいつでも相談に乗ってくれて、すごく助かった。
- ・楽しい最後の学生生活でした。
- ・ありがとうございました♡
- ・楽しく学生生活を送りながら、様々な知識や技術を得ることができて良かったです。
- ・楽しく保育士免許をとらせてもらえた。ありがとうございました。
- ・先生がたくさんサポートしてくださって良かったです。感謝です。
- ・2年間、楽しかったです。
- ・学祭など、コロナでなかったのも、くやしい！！
- ・たのしかった！
- ・素敵な学生生活を送ることができました。
- ・たくさんのお友達をつくることができました。感謝の気持ちをもつことを多くの場面で学ぶことができました。
- ・コロナで行事が受けられず、不完全燃焼などころはありましたが、充実していたと思います。
- ・学校生活がとても楽しくて充実できたのでよかったです。先生も優しく心強かったです。ありがとうございました。
- ・たくさんのお話を学ぶことができました。
- ・2年間ありがとうございました。文化学園に入って良かったです。
- ・2年間コロナという状況の中で対応しながら頑張ることができました。
- ・コロナ渦で思ったように授業も実習もできなかったけど、とても充実した2年間でした。先生方や仲間たちにありがとうと伝えたいです。
- ・ピアノの台数が足りなかった。レッスンも短い。

## 5 まとめ

### 1) 満足度調査

特定の項目を除き、“不満”の思いを表した学生はわずかで、“満足群”を表す「やや満足」と「満足」

の占める割合が90%前後と高い結果となった。

まず「教務」の領域では、新型コロナウイルスのために中止した「運動会・生活発表会」の項目を除き、全体に渡り高い満足度であった。特に「教育・保育実習」「ピアノレッスン」での満足度は高く、多くの学生が抱える現場実習に対する不安を個々の力量に応じて解消できるようにするピアノ指導の取組や、実習に向けての事前サポートをはじめ、体験活動を通して実践力を伸ばしていきたいという、本学科において特に力を入れて取り組んできたことが成果を上げてきたものと思われる。

また、「カリキュラム」「授業」「授業科目」の項目においても、95%前後の高い割合となっている。1年生時と比較して全般に満足度が向上しているという結果であり、学科における様々な学習が、学生自らが伸びを自覚できる活動につながっていることがうかがえる。今後とも、担当教員はもとより学科教員全員が一丸となり、学生個々の実情に応じた細やかな支援に努め、全員が様々な活動を通して確かな成長を実感できるよう努めたい。

次に「学生生活」の領域では、いずれの項目においても90%前後の高い結果となっている。特に、「教員や職員のサポート」については高く、夢の実現に向けての相談や、卒業研究を進める中での指導、就職活動に向けての学生個々の状況に応じた支援など、チューターを主とした学生と教員・職員との密接なかかわりの結果が満足度に現れたものではないかと推察される。一方で、少人数ではあるが「やや不満」との反応もあり、今後は、求めや状況に応じた一層のサポートに努め、自立をした学生を育成していきたい。特に、コロナ禍における学生の状況を踏まえたサポートを心がけたい。

「キャリアアップ」の領域では、いずれの項目も85%前後の満足度ではあるが、例年よりやや下降している。キャリアセンター職員と連動したチューターの細やかなサポート体制を、更に向上させていきたいと考える。一方で、就職や資格取得に関して、1年生時からいかに意識化させていくかが課題だと感じている。

「自治会・学科行事」の領域は、「大学祭」・「スポーツ大会」共に中止となった。時間的に大変厳しい状況にある学生ではあり、更にコロナ禍において、直接的なかかわりを通じた人間関係づくりについて模索する必要があると感じている。

「施設」の領域では、「図書館」「食堂」「保健室」のいずれの項目においても、多くの学生が90%を超える満足度を示していると。「施設や設備全般」への満足度は72%と、行事の準備を行ったり空き時間を有意義に過ごしたりするためのスペースは十分とは言えないまでも、現状の施設・設備の中では最善の対応の結果と思われる。“学生生活に満足”の割合が72%で“その他”が22%と、例年にならぬ結果となっている。コロナ禍における学生生活の不自由さ故ではないかと考えている。

## 2) 自己点検

自己の振り返りについては、いずれの項目においても80%前後の学生が自己の成長を実感している。「専門性の獲得」や「自己の成長」だけでなく、「精神的な成長」を認める学生が83%と、例年自己肯定感が低い本学科の学生の傾向がうかがえる中、様々な活動における仲間とのかかわりや協力によって徐々に成長を実感するに至ったものと思われる。本学での学びが社会に踏み出す勇気へとつながったのであれば、喜ばしい。今後とも、一人一人の学生の現状をしっかりと受け止めつつ、伸びていく姿をつぶさにとらえ、自信につながる評価活動を進めていきたいと考える。